

## 回線トラブルを現地に行くことなくオフィスで解決

ネットワークマスタ プロ MT1000A

ネットワークマスタ フレックス MT1100A



### ネットワーク保守の重要性と課題

ネットワーク回線や伝送機器の保守作業を定期的に行うことにより、ネットワークトラブルを迅速に解決するだけでなく、トラブル発生を事前に予測できます。しかし、保守作業のために機器の設置現場に行くことは、作業効率の低下やコスト増加につながり収益を圧迫します。

#### ■ リモート制御による回線保守の利便性向上

MT1000A/MT1100Aは、Ethernet、WLAN、GPIBなど複数のリモートインタフェースを装備しており、保守形態に合わせた環境構築が可能です。MT1000Aは2ポート、MT1100Aは4ポートの測定ポートを実装しており、それぞれ独立したリモート制御を行えます。この機能を使用することにより、複数の回線を別々に監視集計でき、システム障害に対して迅速に復旧を行うことができます。

#### ■ リモート制御によるネットワーク開設作業をサポート

ネットワーク開設においても、MT1000A/MT1100Aのリモート機能は有効です。開設について最前線の作業者が現場作業をする場合、無線LANを使用したリモート制御を実施することにより、オフィスにいる技術者が現場の測定器画面を見ながら設定・試験を行えます。これにより、技術者の時間的な無駄を排除し、効率よくネットワーク開設を行うことができます。

#### ■ 測定器の安定動作

長期的な保守を行うためには安定した測定器動作は欠かせません。MT1000A/MT1100Aは、長時間の自動試験を行えます。また、製造現場においても、最大4ポートの測定ポートを独立して制御できる機能を使用することで、1台の測定器を複数の製造ラインで使用でき、測定器を有効活用できます。

